

“宇宙を視座に大人が変わる 子どもが輝く 美しい星が生まれる”【子どもと宇宙と未来をつなぐ】

「未来を託された子ども達とともに」

会長 並木道義

このたび、子ども・宇宙・未来の会の若返りを（？）ということで、初代会長の的川教授、2代目会長の平林教授の後任として大役を引き継ぐことになりました3代目の並木と申します。どうぞよろしくお願ひ致します。

私が子ども達と接するようになつたのは、的川先生とのご縁で宇宙科学研究所広報の「ミニミニ宇宙学校」の校長を務めたことがきっかけです。子どもたちから熱心な質問を受けながら、その未来と可能性を強く感じてきました。さらに宇宙教育センターの教材開発委員として教材やテキストを製作、KU-MAの講師として全国各地の「宇宙の学校®」で子ども達やボランティアの方々と活動をして今日に至っております。

KU-MAは、今年設立から9年を迎えます。ひとえに会員の皆さんに支えられてきたおかげと心から感謝申し上げます。当初は、メインの事業である「宇宙の学校」を共に開催していく団体を探すのにも大変苦労をしましたが、今では全国54か所、年間延べ1万7千人あまりの家族が学ぶ「学校」として定着してきました。主催団体の自主的な活動も増え、裾野の広がりを感じています。

「宇宙の学校」は、家族参加型の独自の形式で行つております。「宇宙の学校」を通じて家族の結びつきがとても良くなつてきたとの嬉しい便りも多く寄せられています。

子どもたちがこれから沢山の学びを通して一段一段階段を上るように進んでいくためには、常に一緒にいる家族との対話が重要な鍵になると思つております。

「宇宙の学校」の広がりを受け、近年ではそれ以外の事業も少しずつ行えるようになってきました。企業CSR活動への支援や教材販売などを通じて社会に貢献すると同時に、事業収入を得ることで、運営体制の強化に努めております。また子ども達を支える大人たちにも学びを広げようと、「おとなの宇宙の学校」開催にも取り組み始めました。KU-MAの歩みは決して遠くはありませんが、着実に前進するべくスタッフと共に努力を重ねております。

並木道義（なみきみちよし）略歴
 1969年東京大学付属航空研究所航空力学部河村研究室に入所。改組により宇宙科学研究所所属となり、科学観測用の気球の開発を長年にわたりて行つてきた。日本南極観測隊、オーストラリアでの「はやぶさ」の回収班など、海外での業務にも多く携わった。
 現在は、JAXA宇宙科学研究所企画・広報係、JAXA宇宙教育センター非常勤講師。平成25年よりKU-MA理事。

未来を託された子ども達とともに、宇宙の学びを通して一緒に歩んでいくことができるように、全国の会員の皆様方には是非ともお力添えをお願いしたいと思います。
 これからもKU-MA共々どうぞよろしくお願ひいたします。



4月に就任した
並木道義会長（左）と稻葉茂副会長（右）
(稻葉副会長からのご挨拶は次ページへ)

「子どもの宇宙」

副会長

稻葉 茂

平成29年(2017年)4月から、子ども・宇宙・未来の会の副会長に就任しました稻葉です。昨年7月に亡くなられた遠藤前副会長の後任としてその大役をお受けすることになり、大変プレッシャーを感じています。

さて、以前、遠藤先生から「子どもの宇宙」(子どもの時間と空間)という言葉を聽きました。「これって何かない」、「どういう意味なのかなあ」と思いながら相模原「宇宙の学校」をやっていた時に子どもから学ぶことができました。それは、「カエデの葉」を分類してありました。「あなたが分類していました。多くの子どもは、同じ形の葉を集めています。しかし、その子は、いろいろな形の葉が混ざった状態で真剣に分けた理由を教えて」と聴くと「こちちは、空いてない葉っぱ。」「穴のあいてる葉と書いてない葉」...「そう、虫さんがおいたくなない葉っぱで分けたの」...まさしく「子ども宇宙」ってこのことだと思います。いろいろな視点からものを見ることの大切さをこの子から気づかされたのです。

的川名誉会長がよく「宇宙の視座」という言葉を話されます。地球から宇宙を見ると果てしない非常に遠い世界です。しかし、逆の宇宙のかなたから地球を見ると地球がすべて見えてしまいます。見方を変えると見え方が違います。方や考え方を変わってきます。子どもは、育っていく時間と共にその活動空間を広げていきます。まさしく「子どもの時間と空間」つまり「子どもの宇宙」が広がっていきます。そんな中で子どもがいろいろなものに出会い多様な見方や考え方ができるよう微力ながら頑張りたいと思います。

稻葉 茂（いなばしげる）略歴
1978年東京理科大学卒、神奈川県相模原市立中学校理科教諭。
校教頭、市教育委員会指導主事、市立中学相模原市教育委員会教育指導員、教育研究会会長、神奈川県公立中学校校長会教育研究委員会委員長。
現在、相模原市教育委員会教育指導員、「さがみ風つ子教師塾」専任講師、相模原教育研究会会長、神奈川県公立中学校校長会教育研究委員会委員長。
平成28年からKU-MA理事。



第1回高柳雄一理事による講演

2016年度の東京都国分寺市教育委員会主催の「おとなの『宇宙の学校』」は、KU-MAが協力して、2回目の開催となりました。宇宙と科学の魅力に触れる大人向けの3回シリーズで、KU-MA理事による講演と宇宙教育教材の紹介から成る講座です。今年度のテーマは「宇宙と人」。

第1回(12/17)は、高柳雄一理事の講演「私たちが星空から学んだことでスタートしました。約1万7千年前のラスコー洞窟に描かれたすばる(プレアデス星団)や青銅器時代の中国の天文学に始まり、人類が星空を観測しながら何を学んできたかについて現代に至るまでの歩みを概括しました。「人間は星のかけら」「遠くを見ることは過去を見ること」「私たちがこうして宇宙を観ていることは、なんとも不思議なこと」「不思議を発見して解明することは無駄ではない」との言葉が印象的で、人類が遙か昔から宇宙の不思議を見つめながら発展してきたことが感じられました。続いて行われた「宇宙の学校」の教材紹介では、スチール傘を参加者各自が作成しました。A4サイズの薄いスチロール板にセロテープで糸やあしを取り付けるだけですが、取り付け方や位置などで揚がり方が違ってくることを教室をぐるぐる傘揚げして歩きながら体感しました。

第2回(1/14)は「宇宙への夢のつなぎ方 -ロシアの場合-」と題して菊地涼子理事が話をしました。あまり知られていないロシアの宇宙開発について、歴史を紐解き、打上げ基地など現地で撮影した豊富な映像・画像を取り入れながら解説を行いました。共産主義が否定され、ソ連という元の国が崩壊する激変を経ながらも、たゆまず続いてきたロシア流の宇宙へのアプローチが新鮮に映りました。教材紹介では、一人一台スポットロケットを作り、机上で打ち上げました。

最終回の第3回(2/18)は、水谷仁理事による「生命が存在する惑星の条件」をテーマとした講演でした。まず、生命の存在する可能性のある星を見つけ、探査しようとするさまざまな試みや考え方を紹介されました。後半は、原初の地球においてどのような条件が組み合わせて生命が誕生することになったのか、水谷理事の深い研究と独自の考察が述べられました。地球の創成期には非常に大きかったと推定される潮汐作用を中心とした説は推理小説のように興味深く、話に引き込まれました。講演後の教材紹介では熱気球を作りました。

(総会資料に参加者アンケートを掲載しました。合わせてご覧ください。)



国分寺市教育委員会 松井教育長の挨拶



並木道義理事（当時）が教材実習を担当



第2回菊地涼子理事による講演



第3回水谷仁理事による講演

2017宇宙の学校®開催地情報（予定）

今年も全国54の地域（会場）で開催を予定しています。

たくさんの家族が家庭学習とスクーリングで、家族や地域の絆を深めていきます。これから週末には、どこかの地域でスクーリングが行われています。お近くの会場の日程や開催模様は当会のホームページで確認できます。見学や開校などのご希望はお気軽に事務局へお問合せ下さい。

<北陸地方>
金沢市、かほく市、小松市、★大野市

<中国地方>
松江市、岡山市、和気町、新見市、三原市、★山口市

<九州地方>
★大野城市、長崎市、出水市

<沖縄地方>
那覇市

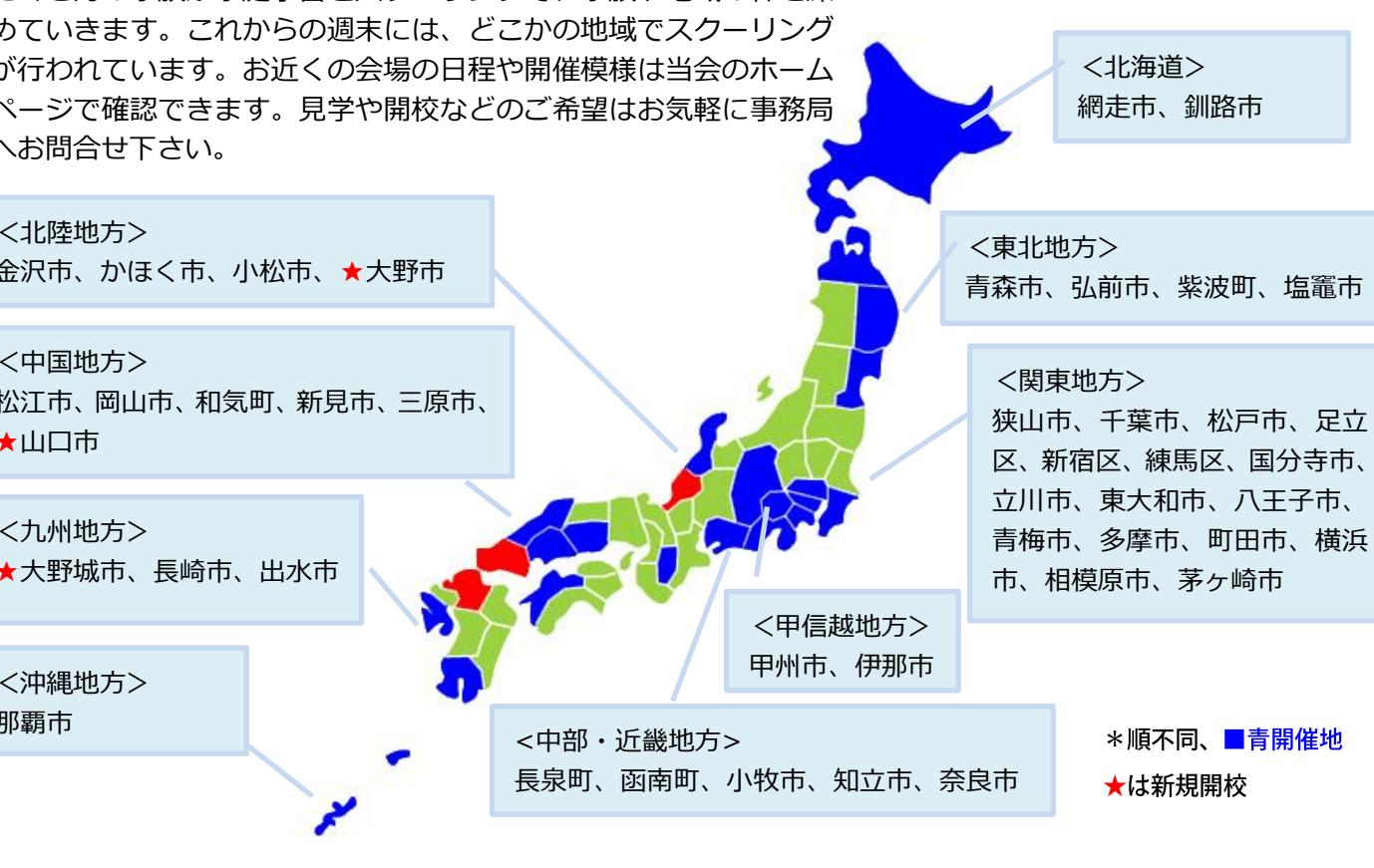
<中部・近畿地方>
長泉町、函南町、小牧市、知立市、奈良市

<北海道>
網走市、釧路市

<東北地方>
青森市、弘前市、紫波町、塩竈市

<関東地方>
狭山市、千葉市、松戸市、足立区、新宿区、練馬区、国分寺市、立川市、東大和市、八王子市、青梅市、多摩市、町田市、横浜市、相模原市、茅ヶ崎市

*順不同、■青開催地
★は新規開校



■ボランティアの方々と

KU-MAで使用する教材は、ボランティアスタッフの方々にプログラムに合わせて加工したり準備を手伝っていただいている。全国の「宇宙の学校®」などで使われるわけですからその量は膨大で、KU-MAの事務所の中には常に教材の材料や段ボールがうず高く積まれています。週に一度でもKU-MA事務所に来ることのできる方がいらっしゃいましたら是非仲間に加わってください。ご連絡をお待ちしております。

3月末のある日、ボランティアスタッフの方々に集まつていただき、昼食会を行いました。普段は交互に日を替えて作業所に来ているため、一堂に会することはめったにありません。自己紹介やKU-MAに来るようになったきっかけなどを話しながら楽しい昼食会となりました。

また、3月末日をも以って退任された平林前会長には、これまでの感謝とともに花が贈られました。会長職もまたボランティアでの仕事です。

平林先生、これまで3年にわたってKU-MAを率いて下さり、どうもありがとうございました。大変お疲れ様でした。今後も理事として、どうぞよろしくお願ひいたします。



■編集後記

表紙の会長・副会長のツーショットは、宇宙科学研究所(宇宙研)の敷地内で撮影しました。KU-MAの「宇宙の学校®」事務局はこの敷地の隅っこに間借りしています。今の季節は深い緑に囲まれています。

お二人の背後にはM-Vロケットの実機模型が写っています。ほかに展示室もあり、人工衛星や探査機、ロケットの模型などが見られます。予約なしで見学可能。食堂や売店も利用できますよ。是非お出かけください。(㊟今年9月から年明けまでは工事のため閉鎖予定。) (き)

■会員状況（平成29年5月現在）

正会員 231 (個人:212 学生:1 企業・団体:18)

賛助会員 57 (個人:40 企業・団体:17)

みなさまの会費や寄付金が運営費の一部となり、KU-MA活動を展開させていただいております。日頃のご支援に心より感謝を申し上げるとともに、引き続き、活動および活動資金へのご協力をお願ひいたします。

■事務局からのお知らせ

① 6/15 (木) 通常総会を開催いたします！

平成29年度通常総会を6月15日 (木) 13:30より“プロミティふちのべ”で開催いたします。資料及びご案内を発送いたしました。今年も総会終了後、懇談会、懇親会で会員の方々の交流の時間を企画しております。たくさんのご参加をお待ちしております。

② ホームページに会員状況ページができます

ホームページに正会員の会員紹介ページ(都道府県別の人数やお名前を掲載)を作成中です。お名前の掲載の可否については総会の出欠表(はがき)にて、お尋ねしています。掲載を希望されない場合は、はがきにチェックし、ご送付ください。(後日の変更も可能です) 7月頃の公開を予定しています。お知り合いの方がKU-MA会員でつながっているかもしれませんね。みなさんの交流などに活用いただけたら嬉しいです。

■会員募集中！！

◇正会員：KU-MAのミッションに賛同し、活動を推進する個人/法人・団体

年会費 個人：10,000円(学生 5,000円)、法人・団体：50,000円

◇賛助会員：KU-MAのミッションに賛同し、寄付いただける個人と法人・団体

年会費 個人：1口 1,000円、法人・団体：1口 50,000円

※個人賛助会員への会員証、メールマガジンの送付は5口以上からです。

■会費や寄付金のお振込先

【会費や寄付金のお振込先は下記の口座へ】

横浜銀行 深野辺支店 普通預金 1768456

特定非営利活動法人子ども・宇宙・未来の会
会長 並木 道義

「子どもの宇宙」を広げ 未来を豊かに

「宇宙の学校®」は、
JAXA 宇宙教育センターと当会の協働事業です

NPO法人 子ども・宇宙・未来の会 「宇宙の学校」事務局

〒252-5210 神奈川県相模原市中央区由野台3-1-1 JAXA内

電話・FAX : 042-750-2690

E-mail : KU-MAs@ku-ma.or.jp

ホームページ : <http://www.ku-ma.or.jp>